

【サクラ】

「司令官殿！ ご命令通り、軍服を脱いで牛柄水着を着用いたしました！」

【カレン】

「今回の慰安任務では、デカ乳メス牛軍人となった我々との牛鳴き交尾をご所望のようですね♡」

司令官であるあなたの執務室に、牛柄水着を着けたサクラとカレンがやってくる。

104センチのIカップや90台後半のデカ尻に対して水着のサイズはやや小さく、かなりの食い込みを見せていた。

そんなエロい体を惜しげもなく晒しながらも、ふたりはいつものように凛々しい顔をして敬礼をする。

【サクラ】

「オマンコ軍人改め、メス牛軍人サクラ！ いつでもオマンコ出撃可能です！」

【カレン】

「同じくメス牛軍人カレン♡ 司令官様好みの牛鳴きで、オチンポ様にご奉仕いたしますわ♡」

次なるあなたの命令を待ち、ふたりはそのまま敬礼の体勢を崩さない。

水着からわずかにハミでる、デカ乳にふさわしい乳輪。

薄い布地を押し上げてかすかに主張する乳首。

むちっとした太ももと鼠径部が露わとなった股間。

ふたりの体をじっくりと舐めまわすように眺めたあと、あなたはサクラに命じる。

【サクラ】

「はっ！ 四つん這いになりデカケツを向けろとのご命令、了解しました！」

あなたの命令に忠実に従うサクラは、すぐさまむっちりとした肉付きの良い尻を向け、四つん這いとなる。

股間を覆う小さな牛柄水着をわずかにめくり、露わとなった膣口に容赦なくチンポをねじ込んでいく。

【サクラ】

「おっ……おっ……♡ ほっ♡ おおっ……♡」

あなたのチンポが膣内に侵入していくたびに、まるで媚びるかのようにビクビクとケツが揺れていた。

膣内は当然のようにぬるぬると湿っており、強い締めつけでチンポを出迎える。

もう何度ハメまくったかわからない、あなた専用オマンコ軍人のマンコ。いまだにハメ心地は最高で、たまらず腰が動き激しいピストンで責め立てる。

【サクラ】

「おおっ……♡ おっ♡ おっ♡ おおお～♡ ほおっ♡ ンおおお～♡」

マンコが挟られるたびにオホ声で喘ぐサクラ。

そんな彼女に対して、いまだ敬礼のポーズを崩さないカレンが呆れたように注意する。

【カレン】

「あら、ダメよ、サクラ。今回の慰安任務は牛鳴き交尾だから、そんなオホ声ではなく、もっと牛さんのように鳴かないと」

【サクラ】

「そ、そうでありました……！ 司令官殿！ 聞き飽きたであろうオホ声をあげて申し訳ございません！ オマンコ軍人カレン！ 司令官殿のオチンポを興奮させるため、牛鳴きさせていただきます！」

後ろから突かれているというのに、サクラは律儀に敬礼をしてから、牛のような鳴き声をあげ始める。

【サクラ】

「もっ、もおお～……♡ ンもおお～……♡ おっおっおっおっ……もおお～♡ ぶもおお～♡」

腹の底から絞り出すような、渾身の鳴きまね。

普通のセックスでは絶対に出さないような声だが、むしろそれがあなたの興奮を高めていく。

【サクラ】

「おっ、おおっ……♡ チンポやべっ……♡ もおおっ……♡ んもおお～♡ ち、チンポっ♡ やべえであります♡ んもおお～♡」

牛鳴き喘ぎを聞きながらマンコを好き放題パコリまくる。

それだけでも至福と言えるが、あなたの前にはもうひとり、絶対服従の部下がいるのだ。

【カレン】

「はいっ♡ チンポをハメやすいようにケツを向けろとのご命令、承知しました♡」

あなたが命じると、カレンはサクラのそばで四つん這いになり、ケツを揺らしてハメ待ち体勢を維持する。

好き放題やりまくれるデカケツ女軍人を前にして、遠慮することなどなにもない。

当然のように、あなたはふたりのマンコを交互にハメ潰していく。

【カレン】

「あっ……ああんっ♡ あっ、あぁっ……♡ もっ、もおお～♡ んもおお～♡」

【サクラ】

「カレン！ 恥じらいを捨ててもっと腹から声を出さねば、司令官殿を興奮させることはできないぞ！」

軍人だけあって根は体育会系なのか、カレンの甘い牛鳴き喘ぎを聞いてサクラがそう厳しく指摘する。

【カレン】

「は、はいっ♡ もっ……もお おお～～♡ ぶんもおお～♡」

サクラとカレンは士官学校時代からのライバル関係。

サクラに指摘されたのが悔しいのか、カレンの牛鳴き喘ぎが本格化していく。

【サクラ】

「おっおっおっおっおっ♡ んもおお～♡ ぶもっ♡ ぶもおお～♡」

【カレン】

「ああんっ♡ あっあっあっあっ♡ んあっ♡ もおっ♡ もおお〜〜♡ ぶもおおお〜♡」

執務室に響き渡る、メス牛二匹の交尾声。

それを聞きながらサクラとカレンのマンコを交互に突きまくっていると、やがて限界が訪れる。

躊躇することなく、まずはサクラに中出しをキメてやる。

【サクラ】

「んもおおお〜〜♡ おっ……おとおっ……♡ ザーメン熱いっ……♡ オマンコ軍人サクラ！ メス牛マンコ妊娠しますっ♡ もおおおお〜♡」

射精途中でサクラのマンコからチンポを引き抜き、今度はカレンのマンコに中出しをキメる。

【カレン】

「ぶもおおお〜〜♡ お、お精子ありがとうございます♡ 司令官様の貴重な精子でマンコ孕みますわっ♡ んもおお〜♡」

種付けされる時はいつもそうしているように、ふたりは右手で敬礼をキメ続ける。

いつでもどこでもやりまくれる、あなた専用オマンコ軍人。

次はどんな慰安任務を命じようか。

中だしをされて精液を垂れ流すふたりのマンコを眺めながら、そう考えるのだった。